

日赤病院跡地のまちづくりに関するニュース 第1号



中川地区のみなさま、こんにちは。

前橋市役所の政策推進課です。

前橋赤十字病院が平成30年6月に朝倉町・後閑町の新病院に移転するのはご存知だと思いますが、その跡地の利用方法については、これまで「前橋赤十字病院跡地利用連絡会議（H27.4.20設置）」において日赤（群馬県支部、前橋赤十字病院）、群馬県、前橋市の三者で検討してきました。

その連絡会議において、前橋市から「日赤跡地のまちづくりの手法としてCCRC（※）の導入検討」について提案したところ同意が得られましたので、これまで前橋市が中心となり日赤病院跡地のまちづくりについて検討を進めてきました。

その検討内容等について、このニュース第1号をスタートに地域のみなさまに随時お知らせしてまいります。

※CCRCって何？

CCRCってわかりづらい・・・

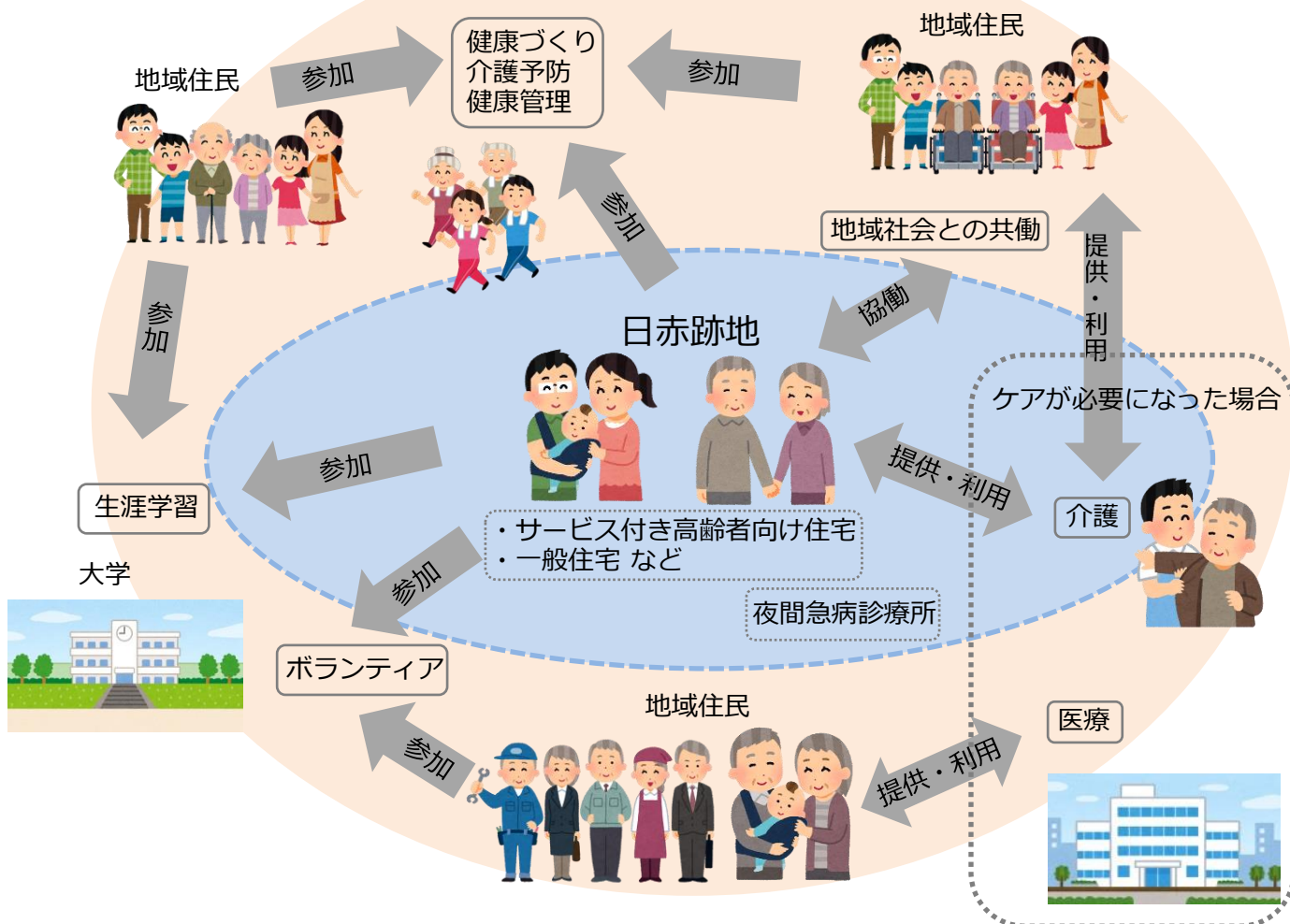


CCRCとは、Continuing Care Retirement Community（「コネチング ケア リタイメント コミュニティ」）の略で、健康時から介護時まで継続的ケアを提供するアメリカの高齢者施設の考え方です。日本では「生涯活躍のまち」と言われています。

わかりづらいのでCCRCという表記はなるべく避けていきたいと考えておりますが時々出てしまうかもしれません。どうぞご了承ください。

<日赤病院跡地のまちづくりのイメージ>

前橋市（中川地区）



日赤病院跡地に生涯活躍のまち

- ・市では、現在の前橋赤十字病院の跡地を利用して、地域の方々がこれからも安心して暮らせるような居住・医療・介護・生涯学習等の機能を備えた地域づくりに取り組みます。
- ・この地域への市内外からの移住促進にも取り組み、高齢者だけではなく、子育て世代も含めた多世代のまちづくりをすすめます。



前橋版 C C R C 構想推進協議会を開催

市役所だけで考えて決めるのではなく、産業界や金融機関、大学、医師会、地元自治会の方々からご意見を伺うため、協議会を設置しました。

【会議】8月30日（火）に第1回会議を開催

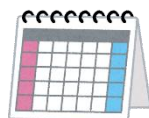
【議題】(1)前橋版 C C R C 構想策定の背景について
(2)前橋版 C C R C 構想策定にあたっての論点について
(3)今後のスケジュールについて

【主な意見】

- ・他都市との差別化戦略が必要
- ・本市は小児科医が充実しており、子育て世代にアピールできる
- ・首都圏退職者のスキル（技能）を前橋で活かす取組ができるとよい
- ・生き生きとした活動ができるようボランティア活動や生涯学習などの環境整備が必要
- ・車がなくても豊かな生活を送れるための仕組みが必要
- ・地域住民へのわかりやすい説明が必要



● 今後の予定



- 〔11月〕・第2回目の協議会を開催します。
 - ・中川地区の7つの自治会を対象とする説明会を開催します。
- 〔12月〕・第3回目の協議会を開催します。
 - ・日赤跡地の整備計画を公募します。※

※市役所が計画のすべてを決めてから事業者を募集するのではなく、さまざまなノウハウを持った民間事業者から計画案を募集して、協議会と意見交換しながら日赤跡地 C C R C を整備していきます。